

「日本経済再生に向けた緊急経済対策」進捗管理シート(文部科学省)

対策の柱立て(大区分)	Ⅱ. 成長による富の創出	担当部局	研究振興局
対策の柱立て(中区分)	1. 民間投資の喚起による成長力強化		
対策の柱立て(小区分①)	(2) 研究開発、イノベーション推進	担当課	ライフサイエンス課
対策の柱立て(小区分②)	② 医療関連イノベーションの促進		
対策における施策の名称	iPS細胞等を用いた再生医療研究加速のための施設・設備等、iPS細胞等自動培養装置開発加速事業		
(事業名)	iPS細胞等を用いた再生医療を実現するための基盤整備	新規/既存	■新規 □既存
平成24年度補正予算額	174億円	会計区分	一般会計

事業の内容
(予算については、予算の使途及び予算を交付等する対象者を明記)

①再生医療実現拠点ネットワークプログラム 128億円
京都大学iPS細胞研究所等において、臨床応用を見据えた安全性・標準化に関する研究、再生医療用iPS細胞ストックの構築、疾患・組織別に責任を持って再生医療の実現を目指す研究体制の構築等を実施するために必要な設備整備を行う。

②iPS細胞等を用いた再生医療を実現するための基盤整備 6億円
理化学研究所神戸研究所において、特に網膜疾患に対する再生医療を実施する際に必要となる細胞調整施設(CPC)を新規に整備し、iPS細胞研究の実用化に向けた研究環境整備を行う。

③神戸地区再生医療等融合連携イノベーション推進棟の建築 38億円
関西イノベーション国際戦略総合特区の立地を活かし神戸医療産業都市構想内に、立体器官培養、分子イメージング等の技術を持つ理研と周辺企業の共同によって、患者由来のiPS細胞を用いた立体組織疾患モデルを確立し創薬や再生医療の革新的技術・機器を開発を行う研究拠点「融合連携イノベーション推進棟」を整備する。

④バイオリソース事業 1億円
理化学研究所において、疾患特異的iPS細胞のバンク等を構築するための機器整備等を前倒しで実施し、国際的に競争の激しい同分野において、我が国における疾患特異的iPS細胞を用いた疾患・創薬研究を含む再生医療研究がいち早く推進できるように研究環境整備を行う。

実施方法

直接実施 委託・請負 補助 負担 交付 貸付 その他()

アウトプット指標(進捗指標)

(アウトプット指標による目標)
平成25年2月末時点での交付決定済額:174億円
平成25年6月末時点での契約額5億円
平成25年9月末時点での契約額104億円
平成25年12月末時点での契約額174億円

アウトカム指標(効果指標)

(アウトカム指標による目標)
施設(平成25年度末までに融合連携イノベーション棟1箇所、細胞調整施設(OPC)1式)・設備(平成25年度末までに細胞画像撮影・解析装置1式、高速シーケンサー1台等)を整備するとともに、それを活用するiPS細胞等を用いた再生医療・創薬の実現に向けた研究活動等を推進する。

事業の進捗状況
予算の執行状況
(進捗実績、今後のスケジュール)

【進捗状況】
補正予算成立後、実施機関への交付決定を実施済み。実施機関において、民間企業等との契約手続きや調整作業を進めている。

【今後のスケジュール】
・平成25年3月以降、設計・仕様作成を含めた契約への手続きを順次進める。
・同12月末までに実施機関民間企業等との契約を完了。

【進捗ステップのイメージ図】 (6月1日時点)

```

graph TD
    A[国] -- "交付決定(3月18日)" --> B["(独)理化学研究所"]
    A -- "交付決定(3月18日)" --> C["(独)科学技術振興機構"]
    B -- "契約(3月29日)" --> D[民間企業等]
    C -- "契約(3月)" --> E[民間企業等]
    
```

注) ↓ : 実施済 ↓ : 一部実施済 ↘ : 未実施

執行早期化のために講じている工夫

仕様を早期に決定する等、可能な限り早期に執行できるよう調整を進めているところ。

事業に関するURL
(事業実施場所、補助先等)

独立行政法人科学技術振興機構: <http://www.ist.go.jp/>
独立行政法人理化学研究所: http://www.riken.go.jp/index_j.html
再生医療実現拠点ネットワークプログラム: <http://www.ist.go.jp/saisei-nw/index.html>